

労働生産性の高い中山間地域農業の実現

～将来の選択肢を増やすための新たな挑戦～ 対象地域: 鷹栖町北斗地区 13戸

1 課題設定の背景

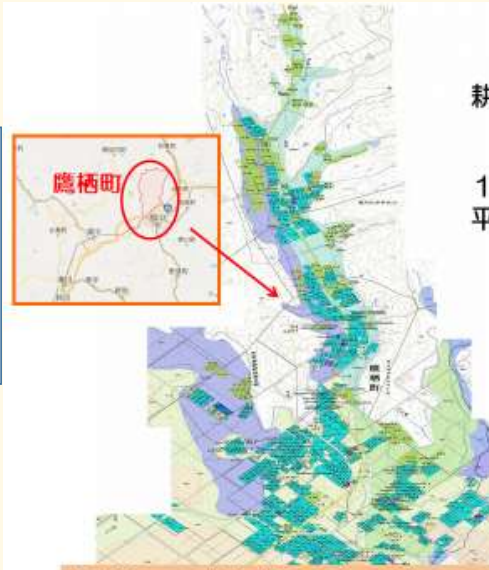
- ・高齢化・担い手不足による農家戸数減少
- ・現状以上の水稲面積拡大が困難
- ・転作作物は牧草が多く管理作業は委託
- ・畑作物は低収で栽培技術改善が必要

【地域概要】

耕作面積 383ha
(転作率31%)

1戸当たり
平均耕地面積 29.4ha

水稲	270ha
小麦	16ha
大豆	15.8ha
野菜	0.8ha
牧草地	64.3ha
その他	20ha



経営主 平均年齢52歳 うち、30代2名、40代1名

2 活動の経過

(1) 省力化技術導入支援

- ・密播中苗の展示ほ設置
- ・除草剤の水口施用
- ・省力化技術の情報提供



高密度は種作業



省力化技術情報提供

(2) 転作作物の導入と栽培改善支援

畑作物の安定栽培

- ・土壌透排水性改善支援
- ・基本技術励行支援



現地研修会での指導



カットドレーンmini施工

3 活動の成果

省力化技術の導入と拡大

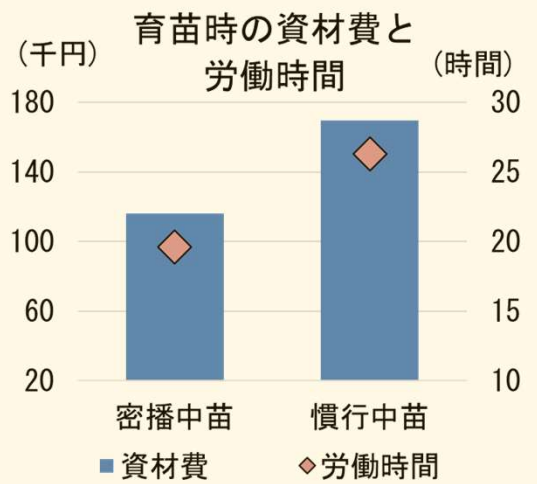
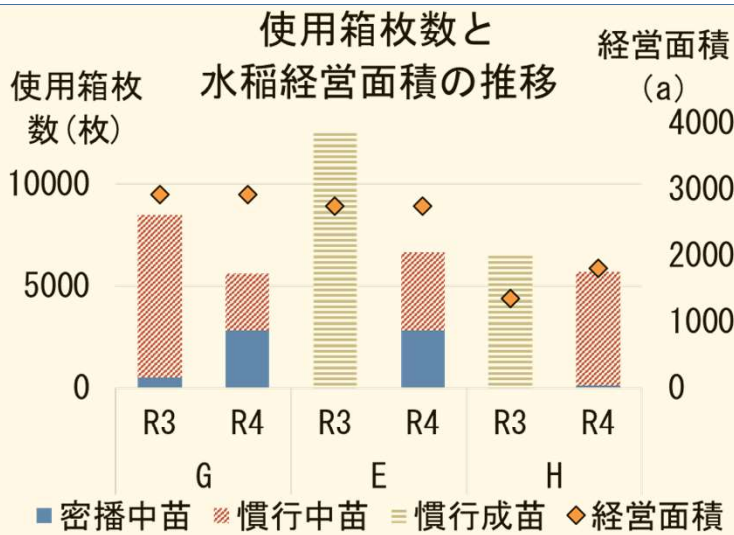
目標達成！！

目標事項	R4			
	現況	目標	実績	実績/目標
省力化技術の導入 (技術導入面積)	4.5ha	30ha	32ha	107%

水稲の省力化技術は来年度も実施したい！



除草剤の水口施用



- ・使用箱枚数が減り、ハウス棟数が減少
- ・農業者H氏は経営面積が増加したが使用箱枚数は減少
- ・労働時間や資材費は減少

労働時間26%、
資材費32%
削減！

転作作物の導入と栽培改善支援

目標事項	R4			
	現況	目標	実績	実績/目標
畑作物の安定栽培 (実施評価点数 80点)	0戸	5戸	0戸	0%

農業者	G	H	L	A	B	評価基準
土壌 pH適正化	△	×	×	△	△	pH : 5.5~6.0
排水対策実施	○	△	○	△	○	明きよ、暗きよ、心土破碎等の実施
輪作実施	×	△	△	×	×	前後作で異なる作物の作付け
適期は種	○	○	○	○	○	大豆: 5月中~下旬、小麦: 9月中旬
適期防除	○	△	△	△	△	大豆: 莢伸長期(8月上旬) マメシクイガ 小麦: 開花始め(6月上旬) 赤かび病
雑草対策	△	△	△	×	×	土壌処理、茎葉処理の実施
生育に応じた追肥 (秋小麦のみ)				△	△	起生期、幼穂形成期、止葉期

(凡例: ○実施、△一部で実施、×未実施)

畑作物実施農業者の平均点数: 53.6点 **未達成**

4 今後の対応

省力化技術(高密度は種)の導入拡大に向けた技術確立

転作作物の導入と栽培改善に向けた支援継続

スマート農業機械導入に向けた提案と啓発



透排水性不良畑での作付結果は掴めた
来年こそは収量を向上させたい！

